

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	進行・再発非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療後の後治療の検討
研究責任者	呼吸器内科 出雲雄大
研究機関名	日本赤十字社医療センター呼吸器内科、化学療法科
研究目的と意義	進行期または再発の非小細胞肺癌に対して現在、免疫チェックポイント阻害剤が初回治療またはそれ以降の治療薬として用いられています。免疫チェックポイント阻害剤既治療例に対する後治療の抗がん剤の有用性および安全性については不明です。そこで当センターにて進行または再発非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療後の症例について、その臨床、画像、治療薬などの特徴を解析、検討することで免疫チェックポイント阻害剤使用症例について、その臨床、画像、後治療の抗がん剤の種類などを解析、検討することを目的に、本研究を計画しました。
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 2016年1月1日から2018年4月末日までの期間に、当センターにて免疫チェックポイント阻害剤が使用された進行または再発非小細胞肺癌患者さん。 ・除外基準 患者さん、またはご家族が当研究への参加を拒否された場合。</p> <p>●研究に使用する試料： (1)診療録 (2)胸部単純写真、CT画像、血液検査結果、病理検査結果</p> <p>●研究方法 診療録から必要な情報を集め、これまでに撮影した画像、血液検査結果、病理検査結果を集積し、データベースを構築して総合的に診断し、臨床像を明らかにします。 この方法は後ろ向き観察研究という方法で、新たに患者さん、あるいはご家族への負担はかかりません。匿名化といって個人名を消去し、代わりに番号などを付与して処理を行うことで、誰のデータか分からないようにして、統計解析を行います。その結果は、呼吸器病に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。 研究に組み入れられることを希望されない方は、担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は致しません。また、今後の治療上の不利益を被るようなことはありませんのでご安心ください。</p>
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 呼吸器内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：刀祢麻里、出雲雄大 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604